

2025年度 事業計画書

(自 2025年10月1日 至 2026年9月30日)

1. 展覧会の開催

(1) 全国公募第66回 日本南画院展 (東京展)

会 場：国立新美術館

主 催：公益社団法人 日本南画院

後援(予定)：文化庁、東京都、竹田市、守口市、守口市教育委員会、読売新聞社

会 期：2026年3月18日(水) から3月30日(月) まで

(2) 全国公募第66回 日本南画院展 (大阪展)

会 場：大阪市立美術館 天王寺ギャラリー

主 催：公益社団法人 日本南画院

後援(予定)：文化庁、大阪府、竹田市、大阪市、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、
守口市教育委員会、読売新聞社

会 期：2026年4月28日(火) から5月3日(日) まで

(3) 全国公募第66回 日本南画院展 (京都展)

会 場：京都市美術館 (通称:京セラ美術館)

主 催：公益社団法人 日本南画院

後援(予定)：文化庁、京都府、竹田市、京都市、守口市、京都府教育委員会、京都市
教育委員会、守口市教育委員会、京都新聞、読売新聞社

会 期：2026年8月18日(火) から8月23日(日) まで

(4) 日本南画院選抜展 (徳島展)

会 場：吉野川市文化研修センター (徳島県吉野川市)

主 催：公益社団法人 日本南画院

後 援：吉野川市、吉野川市教育委員会、徳島新聞社、四国放送株式会社、
NHK 徳島放送局、株式会社ケーブルネットおえ、日本中央テレビ
株式会社、NPO 法人吉野川市文化協会

会 期：2025年10月24日(金) ~10月28日(火) まで

(5) 第11回中日美術交流聯合展（北京展）

会 場：北京画院

主 催：公益社団法人 日本南画院、北京画院

後援(予定)：中国北京市文化局、中華人民共和国駐日本大使館

開 幕 式：2025年10月16日（木）

会 期：2025年10月16日（木）～26日（日）

(6) 第11回日中美術交流合同展（日本展）

会 場：未定

主 催：公益社団法人 日本南画院、北京画院

後援(予定)：外務省、文化庁、中華人民共和国駐日本国大使館他

開 幕 式：未定（2026年9月頃予定）

会 期：未定（2026年9月頃予定）

(7) 日本南画院大作展

会 場：守口市役所

主 催：守口市 市民生活部 生涯学習・スポーツ振興課

協 力：公益社団法人 日本南画院

会 期：2026年8月予定

2. 南画の研究、創作の奨励

- (1) 日本南画院会員が主催する展覧会(研究会)を後援し、役員幹部がその創作研究活動を奨励する。

主な創作研究活動先は、蒼林社(京都)、現代南画協会(大阪)、関西水墨画会(大阪)、宝塚画壇(兵庫)、青玲社(大阪)、月居会(大阪)、春風(京都)、連の会(京都)、神戸水墨画同好会(兵庫)、風節会(石川)、登紀野会(東京)、茨城水墨画協会(茨城)、その他

- (2) 会員の研究展の推奨の他、スケッチ旅行等を実施するなどして後援を行う。

3. 南画の指導及び南画家の育成

(1) 南画の指導について

- 会員の主宰する塾に幹部を講師として派遣し、「東洋美術の精粹」としての南画の意味を指導する。
- 東京、京都、大阪、(三都)展に於いて幹部のギャラリートークを通じて南画の指導並びに普及に当たる。
- 要請に依って幹部会員等が国内外の小・中学生に水墨画の指導に当たる。

(2) 南画家の育成

各塾に入会する事に依って、研究し易い場を設け創作活動が出来るようすすめる。
(例えば、グループ展・塾展を奨励)
又、外部活動では 関係諸団体展に出品奨励するなどして育成を図る

4. 機関誌の刊行

毎年機関誌「日本南画院報」を発行する。
2026年10月頃 第33号発行予定。 ※ 67期事業

5. 南画の海外への紹介

●第11回中日美術交流聯合展(北京展)

会 場:北京画院
主 催:公益社団法人 日本南画院、北京画院
後援(予定):中国北京市文化局、中華人民共和国駐日本大使館
開 幕 式:2025年10月16日(木)
会 期:2025年10月16日(木)～26日(日)

●第11回日中美術交流合同展(日本展)

会 場:未定
主 催:公益社団法人 日本南画院、北京画院
後援(予定):外務省、文化庁、中華人民共和国駐日本国大使館他
開 幕 式:未定(2026年9月頃予定)
会 期:未定(2026年9月頃予定)

6. 百年誌の件

- 設立 100 周年記念事業として、百年誌刊行に向け引き続き編纂事業に取り組む。

7. その他目的を達成するための必要事業

- 地方への戦略「地方創生」

南画・水墨の普及振興と地域に根付く文化を生かし、地方(人達)の未来を開く事を目的に育成した作家を各支部を通じて地方と都市を往還させ、文化力で人の循環をつくり出す。

すなわち地方回帰への活路を以って、斯業の発展に寄与する事を目的とするもので、その戦略の一環として下記地区を主な拠点として活動する。

<各地区代表者一覧>

千葉地区代表	原 桂州	南房総市富浦町原岡 228-1	0470(33)4065
茨城地区代表	諸岡 佳	龍ヶ崎市米町 4024	0297(62)1502
長野地区代表	五十嵐 静泉	下伊那郡豊丘村神稲 1370	0265(35)3402
埼玉地区代表	大河原 幹山	ふじみ野市上福岡 5-4-11	049(263)4852
栃木地区代表	牧島 恵美	栃木市岩舟町小野寺 2830	0282(57)7200
石川地区代表	森川 節夫	金沢市富樫 2-3-21	076(243)1225
福井地区代表	清水 精風	丹生郡越前町樫津 19-1	0778(32)2790
富山地区代表	平瀬 和絵	富山市磯部町 1-11-20	076(425)5790
名古屋地区代表	森 仙骨	名古屋市緑区鳴海町薬師山 1	052(896)4083
岐阜地区代表			
徳島地区代表	藤井 瑞雲	吉野川市山川町町 30-3	0883(42)6588